

弘前城天守は
石垣改修に伴う
曳屋工事により
77.6メートル
移動しました！



参画だより

No.58

2016. 3. 31

弘前市民参画センター

弘前市マスコットキャラクター『たか丸くん』

PICK UP!

男女共同参画の視点で読む
世界の格言・名言

自分で何とかするしかない
と悟った時から、
人の成長は始まる。

エマーソン



弘前市民参画センター事業紹介「第2回ひとにやさしい社会推進セミナー」ほか P 2・3

まなぼ「女性活躍推進法」 P 4

おとこの気持ち聞いちゃいました「サラメシは愛妻弁当」 P 5

さんかくひとりごと「日々の生活の中で…」 P 5

ひとグループ
男女・団体紹介「素敵な仲間～ラケットテニス 健球会～」

利用者・利用団体紹介「お話シャワー」ほか P 7

本の紹介「げんばくとげんばつ」 P 8

センターからのお知らせ P 8



P 6

平成27年度第2回ひとにやさしい社会推進セミナー 「知っていますか？デートDV」

11月30日、市民参画センターで第2回ひとにやさしい社会推進セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、NPO法人ウイメンズネット青森理事長の佐藤恵子さんが講師となり、交際中の若い恋人同士の間でおきる「デートDV」の実態や特徴について、一般的なDV（ドメスティックバイオレンス）とともに解説しました。

DVとデートDV

その形態と本質 誤解と無理解

佐藤さんはデートDVについて、暴力をふるう理由も要因もDV（婚姻中、事実婚の中でおきる暴力）と共通しているとした上で「一般的なDVの特徴に加えて思春期・青年期の特徴的な心理や性



被害者相談カードを手にとり「悩んでいる人は、アクセスして欲しい」と語る講師の佐藤恵子さん

意識・行動が影響している。それを理解した支援が必要」と語りました。

現在のDV防止法では、DVは被害者保護と自立支援が目的で、同居していない交際相手の暴力はDV防止法の一部にしか含まれていないと説明。さらに、ストーリーカー事件の多くは、デートDVの延長線上で起きているとのことと、「デートDVという言葉は、改めてこういうことがあると示すために使う背景がある」と述べました。佐藤さんは、暴力について身体的・精神的・性的・経済的暴力や強い束縛など多様に行われている具体例を紹介。「その本質は、親密なパートナーを自分の思い通りに操り支配するのが目的。相手の自由を奪うということは人権侵害であり、犯罪に匹敵する行為」と指摘しました。

DVという言葉は知られてきてはいるが、依然として誤解や無理解が多いと話し、「加害者から離れればそれでいいと思うかもしれないが、別れられない、逃げられない状況もある。離れられたとしても、精神的ダメージを抱えたまま、子どもにも影響を与え、生活がうまくいかない被害者がたくさんいる」と語りました。さらに、デートDVでは『若い世代で一方的に支配されるとは考えられない』『結婚していないのだから別れるのは簡単』など理解が進んでいない」と話し、デートDVは一部の例外的な問題ではないと述べました。

からだ、心への影響 デートDVの特徴とは？

過去にデートDVの被害を受けた女性の事例では「交際相手に凄惨暴力を受け、離れようとする」とさらに暴力を受けた。その女性のみならず家族の名誉まで傷つけられ、20年以上経っているがまだ回復していない」と



デートDVへの理解を深める参加者

PTSDの影響についても語りました。また、性交渉による妊娠の恐れや性感染症なども、深刻な問題だと指摘しました。

佐藤さんは、デートDVの特徴について「年齢が若いため、性的関係を持つことにより交際相手に特権意識を持ち束縛する。被害者はそれを愛情と錯覚し、暴力を容認し当事者同士が加害者、被害者意識を持ちにくい傾向がある。被害者を感じても相談先を知らない」と説明。「一般的なDVとは区別して対応することが必要」と語りました。

未然に防ぐための防止教育

青森県と協働で、中学生にデートDV防止セミナーをしている佐藤さんは、「ロールプレイから相手を大事にするような関係の持ち方、言い方を考え、どういうところが問題かという提示の仕方をしていく。機会を提供することはとても大切」と述べ、将来のDVを根絶するための教育の重要性を語りました。

会場では質疑応答も行われ、来場者は佐藤さんの話を真剣に聞き学んでいました。



写真（左から順に）当センター職員
葛西市長・損保ジャパン日本興亜支店長の
黒田さんと副長の上原さん



横浜で行われた異業種交流会の様子

弘前市では、損害保険ジャパン日本興亜株式会社と「ひろさき地方創生パートナー企業協定」を締結しました。これにより、損保ジャパン日本興亜をはじめとする市内企業等と協働で女性の活躍を目指した異業種交流会（h i r o s a k i s m a r t p r o j e c t）を今後開催する予定です。

先日、市民参画センタースタッフは、この取り組みの先駆けとなっている横浜市の異業種交流会に参加させていただきました。そこでは、「女性活躍推進に向けた男性の意識改革」というテーマで、上場企業等の社員の集まりというだけあって活発な話し合いと発表が行われていました。弘前でも、各企業や大学、女性農業者の皆さんに参加していただき、女性の活躍に向けて、まずは交流を深められたいいなと期待しています。

今後も、この異業種交流会について随時お知らせしていきたいと思っておりますので、お楽しみに！

女性の活躍推進に向けて一歩前進中！

～「参画だより」はこんな感じで作られています～

とても明るいボランティア編集員の3人。会議は笑顔であふれています。



平成13年7月から年3回発行している「参画だより」は、今号で第58号になりました。

そこで今回は、参画だよりを作っている編集員を紹介し、発行するまでの行程などについてお知らせしたいと思います。

現在編集員は、参画センター利用者でもあるボランティア編集員3名と、センター職員5名の計8名で構成されています。ボランティア編集員のかたは、「男の気持ち聞いちゃいました」「さんかくひとりごと」「利用者インタビュー」「本の紹介」と、主に男女共同参画に関わるインタビュー記事やコラムを担当して

います。インタビューの相手を探すのが大変ですが、お願いしたかた皆さん、快く受けていただいています。（次はあなたかも知れませんので、そのときはよろしく願います）

発行までに2回編集会議を行い、1回目で紙面内容の検討と担当記事の割り振り、2回目はできた原稿を推敲、校正をしてその後、印刷、発行となります。

参画だよりに活動状況などを紹介したいと思っている個人やグループ、また、編集に携わってみたいと思っているあなた！遠慮しないで声をかけてください。お待ちしております。



ときには、真剣な議論も飛び交います。

まなほ

このページは男女共同参画についての学びを深めようということから企画されているページです。

女性活躍推進法

?



聞いたことはあるけど…
どうしてこの法律ができたんだろう？

ねえ、平成 27 年 9 月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が成立したのは知ってる？



男女雇用機会均等法ができてから 30 年がたったけど、職場とかではまだ男女平等だとはいえないよね？育児や介護で、働きたくても働けない女性がいたりとか、職場でのリーダーもまだ男性がほとんどだしね。最近では、人口減少による労働力の不足やグローバル化に対応するためにも、企業はいろんな人材を求めているみたいだよ。

こうしたなか、国ではまだ発揮されていない女性のチカラを『我が国最大の潜在力』と呼んでいて、世の中では女性が活躍できる社会をつくるのが今すごく求められているんだ！そのための一歩として、この法律ができたらしいよ。



?



じゃあこの法律はどんな内容なの？

国や地方公共団体、301 人以上の人を雇用している企業は、
2016 年 4 月 1 日までに、

- ① 女性の活躍状況の把握・課題分析
- ② 行動計画の策定・周知・公表・届け出
- ③ 女性の活躍に関する情報の公表などをしないとイケないみたい。
(300 人以下の企業は努力義務だよ)



?



そうだったんだ！情報を公表することでどんなメリットがあるのかな？

事業者にとっての良い点は、公表した事業者に対して、入社したい人が増え、優秀な人材の確保がしやすくなるね。女性活躍推進の優良企業は認定をうけることもできる。女性は、その公表された情報をもとに、就職先の企業を選ぶことができるから安心なんだよ。



!!



なるほど！この法律によって女性の活躍が進んで、男女共同参画社会に近づくといいね！経済も活性化するかも！

Q. 男女共同参画という言葉を知っていますか？

A. テレビで知りました。

Q. 職場で同じ仕事をしている女性はいますか？

A. います。電気工事なので男社会ですが、最近技師免許を取って現場で同じように働いている人がいます。

Q. 女性のリーダーをどう思いますか？

A. 自分の仕事をキチンとしていたら男も女も関係ないと思います。

Q. 生まれ変わるとしたら男の方がいいですか？

A. もちろん、（強く）男のほうがいいな…。

Q. 家庭の中でできる家事はありますか？

A. 掃除です。階段と玄関がわたしの当番です。それと自分の食器洗いかな。

Q. そのことは家族に感謝されていますか？

A. い～え。それが当たり前だと思っているでしょう（笑）。

Q. 急な思いつきでパートナーといっしょにどこかに出かけることはありますか？

A. あります。休みによくイベントを見つけて出かけますね。

Q. 今の女性、これからの女性に望むことはありますか？

A. う～ん…。いいんじゃないですか。他人に迷惑をかけなければ自由であって。



60代・会社員・既婚

インタビューを終えて

～サラメシは愛妻弁当～

初対面で“昭和の人”を感じました。質問しているときも、遠くを見るようにして、話を聞き逃さないという感じで耳を傾けてくれる。会社では2階の事務所へ上がるとき、階段を早足で一気にながら行く、まだまだ若い者には負けないという気迫がある。今日も仕事の現場をフットワークよく移動していることでしょう。その原動力はやはり22歳からの付き合いで、いつも一緒にの奥さんでしょうネ。（^ー^） 梅

～日々の生活の中で…～



○ 友人の話に？？？

彼女の孫は小学5年生の男の子である。6年生になったら男女混合名簿になるのだという。そして今までは女の子がエンジ・男の子がブルーと指定されていた体操着が廃止になり、何を着用してもいいのだそうだ。それはそれできちんと説明してもらえればいいのだが、その理由づけに男女共同参画社会という言葉が引き合いに出されたとのこと。「それってどうなの？」と聞かれ「それって違うんじゃない？」と答えたものの、その理由を明確に言えなかった自分にガッカリ！

○ 思いおこせば…

21世紀に突入しようという2000年、ある講座で初めて「男女共同参画社会」や「ジェンダー」などという言葉に出合った。ちょうど自分の生き方を考えてみたと思ったときだ。企業戦士とも呼ばれた時代の人と結婚し、3人の子を産み、子育て、家事は妻である自分の仕事だと信じて疑わず、仕事と家事の両立に奔走していた。娘や息子が親になった今、少しずつではあるが確実に時代の変化を感じている。

「男女共同参画社会という言葉あまり聞かなくなったなあ～」とっていると「もう十分進んでいるでしょう」という声がある。こちらで聞かれることがある。「ほんとかなあ～」と疑問。だったら「女性が輝く社会」って今更言わなくても、輝く女性がたくさんいてもおかしくないのに…。



さんかくひとりごと

素敵な仲間

「ラケットテニス 健球会」

誰もが健康維持・増進のために

会を作るきっかけ

それは、平成21年8月から開催された青森県武道館スポーツ教室から始まりました。

当時、県武道館が新規事業として、地域に根差したスポーツ教室を企画。周辺地域の体育協会と協議し、ラケットテニス教室を開催することになりました。ラケットテニスとは、日本全国で愛好されているテニス型ネットスポーツです。バドミントンコートを用い、ボールはスポンジ



ダブルス練習の様子

製の専用ボールを使用しているため、老若男女どなたでも楽しめる軽スポーツです。

教室も予定の2カ月を終えるとき、多数の受講生から「せっかくできたこのメンバーを解散するのはもったいない。お互いの健康維持のためにもサークルを作り、活動していきたい」と話になり、16名（男女とも8名）で『健球会』を結成。会長に安達光雄さんを選任。小野源蔵さんにコーチをお願いし、会場を県武道館として平成21年11月1日からサークル活動が始まりました。

活動内容は？

ルールの学習と基本練習をしながら健康維持・増進。また、技術の向上を目標に活動し、年何回か地区及び県大会に出場しています。

毎週木曜日、12時30分から15時30分の3時間、ラケットテニ

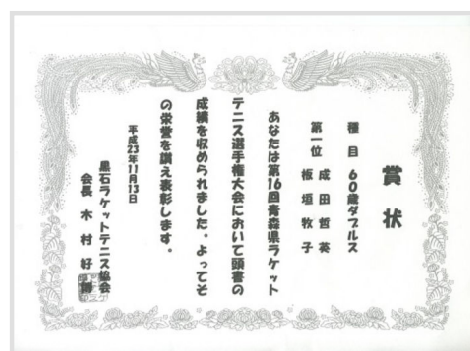
スを楽しんでいます。また、会員の親睦として、新年会と河西体育館ラケットテニスサークルとの交流会を通じ、広く交流を深めています。

これからの展望

特に男女共同参画を意識したことはありませんが、会長を中心に男女各1名の副会長で役員を組織し、組織向上のための意見を男女関係なく受け入れています（どちらかと言えば、女性の意見が強いと思う？）。皆さんに自慢できる素敵な仲間たちだと思っています。

発足当時、夫婦での会員が2組ありましたが、現在15名で活動中ですが、若干名会員を募集しています。皆さんも素敵な仲間と逢い、スポーツを楽しんでみませんか。きつと心身ともに健康になれる。会費は月500円です。どうぞ、入会希望される方は見学においでください。

小野春一さん



平成23年 県大会ダブルス優勝

心からお待ちしております。

これからも、県武道館からの助言をいただき、笑顔で元気なスポーツを楽しみながら、それが市民の健康づくりの一助になったらと考えています。

連絡先

電話

《0172・27・3279》

会長 安達光雄



2014年2月16日
第3回市民ボランティア交流まつり

お話シャワーへのお誘い

自分の好きな本を保育園のこどもたちや、デイサービスご利用のみなさまに読んであげる活動をしてみませんか？

平成15年にNHKの「ボランティア朗読」を受講していた3人のメンバーが、先生の勧めもあって始めたボランティア活動ですが、現在もメンバー8人が絵本の楽しさを伝えるために活躍しています。

お
話
シ
ャ
ワ
ー

弘前市民参画センター利用団体紹介

センター利用者に突撃インタビュー

70代・男性



◆センターの利用目的と利用頻度は？

書道教室を開いていて、月刊誌に生徒さんの書道を載せるので、作品を選出して本部に送るために仲間と打ち合わせするのに利用しています。頻度は作品をまとめるのに月1回とその他の会合があるときなので月1～2回くらい。あと年1回総会のときに使っています。

◆当センターを利用してみた感想をお聞かせください。

場所が街中にあるので交通の便が良く通いやすいです。ほかの利用者に遠慮しなくてもよく、ゆったりと使えるので安心できます。

◆当センターに要望はありますか？

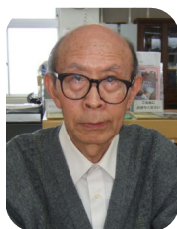
心地よく使っているので、特別にはないです。

◆「男女共同参画」について感想をお聞かせください。

「男女共同参画」という言葉は改まって考えてはいませんが、男性が育児休暇を取り率先して育児に参加しているという点では時代の流れを感じています。核家族が増えてきて、若い人たちは子どもを1人生んで育てていく大変さ。商売が廃業したり老人が施設に入ると持ち家も空き家になるという時代の流れの中で、抱えている問題も大きいと感じています。定年が60～65歳でも今まで培ってきた才能を活かせるように、若い人たちが安心して子どもを産める世の中になってほしいものです。

◆「今一番」の楽しみは何でしょうか？

私の生きがいは「書道」です。「書道」を通して仲間たちとコミュニケーションをとることなので、努めて外に出かけて行くようにしています。



打ち合わせの中インタビューにお答えくださりましてありがとうございました。月1～2回くらいの頻度で利用して頂いているとお聞きしましたが、何かお気づきのことがありましたらご遠慮なくお話しください。

by のん

お話シャワーでは、毎月一度、花園保育園や健生クリニックを訪問して、絵本の読み聞かせや本の朗読をさせていただいています。

メンバーは年齢も出身地も趣味も多彩な顔ぶれですが、それぞれの持ち味を生かして「お話の世界をお伝えして、その魅力を聞いてくださる方々の心に届きたい」と願っては、鏡に向かって

て滑舌の筋トレに励む日々を過ごしています。季節や行事に合わせて手遊びや歌を取り入れたり、メンバー全員で配役を決めてひとつの作品に取り組んだこともありました。

毎月末には、市民参画センターをお借りして定例会を開きます。その月に訪問先で読んだ本の内容を報告し合い、次回の予定を連絡します。そこは、ちょっとした悩みや子育ての現状等、身

近で感じた社会の動向を知る機会にもなっています。

あなたも是非お話シャワーの仲間に加わりませんか？あなたの入会を心からお待ちしています。

連絡先 長内 よう子
☎ 0172 (33) 0752

ご存知ですか？

市民参画センターで あんなこと…こんなこと…

仲間同士で
グループ活動室を利用して
会議・勉強会・茶話会
手芸・ヨガなどなど



ふれあいホールで
勉強・読書など自学する！
コミュニケーションの場として
ご利用ください♪（飲食OK!）

グループ活動のための
資料作りもできる！
印刷機・裁断機・コピー機・
穴あけパンチもあります



パソコン・ポスター
チラシなどで
情報収集！

こんなところも



2階と3階には、おむつ
替えができる広々とした
トイレもあります。
どうぞご利用ください☆

編集後記

今年の冬は雪が少なく過ごしやすかったですね。今年度最後の参画だよりに一年間の思いが甦ってきました。それぞれの「卒業」と「旅立ち」で悲喜交々、新たな気持ちでスタートへ向かいたいところです。私も新たなスタートへ向かいます。今まで培ってきた財産を糧に悔いのない人生をおくります。

b y のん

本の紹介

タイトル

「げんばくとげんぱつ」

文・絵 増山 麗奈
発行所 子どもの未来社



～未来に伝えたいみんなの思い～

東京都江戸川区にある滝野公園に原爆の犠牲者を追悼する追悼碑が存在するという。区内で暮らす被爆者たちの思いが人から人へとつながって募金が集まり、1981年に完成されたもので、民間の人々が造り区立公園で管理するという全国でも稀な追悼碑だそうだ。

「ぼくは、石だ。」ではじまるこのお話は追悼碑に選ばれた石が読者に語りかけるように書かれている。ぼくがどのようにして追悼碑に生まれ変わっていったのか、私たちには想像もできないようなつらい体験をした被爆者たちの思いが、子どもたちにも伝わるような言葉で表現されている。「げんばく」はこりごりだ」というみんなの思いが胸にひびいてくる。

ぼくが東京に暮らしてから、被爆した人たちが千羽鶴を折ってくれる子どもたちと「げんばく」のない世界を祈っていたのに、この公園に来て30年目の春に悲しいことが起こった。大きな地震と津波がおきて福島にある「げんぱつ」（原子力発電所）が爆発した。「げんぱつ」からは放射能が混じった空気や水が漏れだし、ぼくの町にも放射能がやってきた…。

この絵本の最後を「ぼくは「げんばくとげんぱつ」の記憶を未来につたえる石になろうとおもった」という言葉で結んでいる。2011年3月11日の東日本大震災から5年が過ぎた。原発事故のために現在もたくさんの方々が避難生活を送っていることを私たちは忘れてはいけないという思いを新たにしたい。

by komori

【参画だよりに関するご意見、ご感想をお寄せください】



弘前市民参画センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1番地13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00～22:00

休館日 12月28日～1月3日

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sankaku/>

